

◎ 平成28年度事業計画

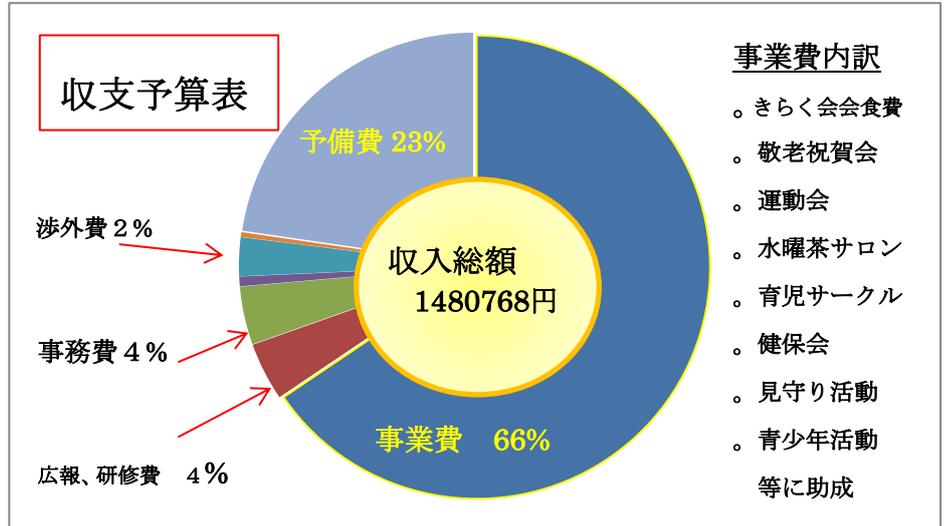
5月25日（水）「平成28年度定期総会」を中町会館に於いて開催しました
本年度の事業計画及び予算案が承認され、事業計画及び予算に沿って社協事業活動が推進されています。

平成28年度最重点事業計画

- 1) 地域住民交流活動
- 2) 子育て支援活動
- 3) 高齢者対象支援活動



総会の様子



◎ あいねっと

6月8日今期のテーマとして「新しい仲間づくりの方法」を話し合いました。駒岡連合会の様々な催しに駒岡に転入してきた若い世代の方も、気軽に催しに参加して頂くために、きっかけとして8月6.7日駒岡連合会主催の「納涼盆踊り大会」に「浴衣の着付けを手伝ってくださいそして一緒に踊りましょう」と呼びかけた所、参加者を得て、例年になく一段と賑やかに盛り上がり大きな踊りの輪が広がりました。



◎ わが家の資源で横浜市の福祉を支えようプロジェクト

平成27年11月5日「駒岡地区連合会」と「資源物回収団体」との協定が調印され、皆様が資源ゴミとして出された「古紙、古布」の回収重量に応じてリサイクル団体が「共同募金会」にキログラムあたり決められた金額を寄付します。

横浜市の資源回収奨励金は従来通りに、資源ゴミが回収された各町会に還元されています。

このプロジェクトは横浜市集団回収推進会が回収した古紙、古布に対し1トン当たり50円を

「横浜市資源リサイクル事業協同組合」「NPO法人横浜市集団回収推進部会」が拠出し「赤い羽根募金会」に寄付します。協定を結んだ駒岡連合会の「地区社会福祉協議会」に配分されてきます。

今年度はH27年11月よりH28年3月までの

半期間の配分金、9、350円を「見守り」事業費として受け取りました。

資源ゴミ「古紙、古布」回収に益々のご協力をお願いします。



◎駒岡連合町会主催の行事紹介



5月21日、「兜塚ふれあい樹林」でさつま芋苗の植え付けがあり、約160名の参加者が苗を植えました。畑の土に初めて触れた子供や小さな虫に興味を持って遊んで居る子供と様々ですが苗を植えた後役員の方々が毎月草取りや畑の手入れをして下さり

10月中旬に大きく育った「さつま芋ほり」が出来ました。



7月25日「駒岡社明運動」開催

近隣の小、中学校校長の学校生活の近況報告や鶴見警察担当者から「振り込め詐欺」の最近の犯罪傾向報告や騙されない為に実際に起きた事例を警察が振り込む寸前の方を説得し事件を未然に防いだなどの話がありました。地域住民が声をかけあって安心安全な地域造りを心がけようなどの話がありました



◎きらく会8、9月を除く毎月第2水曜日開催

各町会婦人部の作る美味しい食事の後は楽しく歌ったりケアプラザの保健師さんから元気に過ごすためのお知らせや話を聞きますご参加希望者は各町会民生委員にお訊ねください



◎9月3日防災訓練実施

駒岡小学校会場に防災訓練が行われた。上、中、下町会及び梶山地区合同での避難訓練、炊き出し訓練、消火訓練等が猛暑の中参加者多数で真剣に行われました。避難会場の駒小体育館は避難民でいっぱいです。いざ！に備えて各ご家庭で最低3日間のお水や食料の備蓄、常備薬の準備、避難場所、家族の集合場所等を話会ってみましょう。



◎敬老慰安会開催

9月11日300名の敬老者をお迎えして第1部式典征矢鶴見区長はじめ多くの来賓の方々にご来場いただきお祝いの言葉を頂きました。第2部は駒小児童による楽しい演奏会、プロの歌手による歌謡ショーが盛大に執り行われました。区長の挨拶から



鶴見区の100歳以上の方は94名おられます。女性の最高齢者は108歳です、男性の最高齢者は104歳の方です。健康寿命を延ばすには好き嫌い無く何でも食べる又ストレスをためないなどだそうです、健康で長生きして下さいと話されました

「いちごの家」と「プチいちごの家」

1歳児対象のサークル活動「プチいちごの家」と未就学児対象の「いちごの家」毎週木曜日二ツ池会館で楽しく遊んでいます。見学に来てください連絡は☎045-570-6601 氏家さん



◎ 鶴見区社協研修会 「近所同士の支え合い」講師 山本 一郎

7月12日「支え合いマップ研修会」がありました。最近では単身者世帯の増加 高齢者世帯 人間関係の希薄化などで、地域で孤立している人が増えている。町会に属していない世帯や周囲との交流の無い人で、気がかりになっている方がご近所にいませんか。近所同士で「さりげない緩やかな見守り」をしましょう。例えばお一人暮らしの高齢者住宅の新聞や洗濯ものが何時までも取り込まれないとか、昼夜門灯がついている、又何時も子供を叩いたり蹴ったり怒鳴ったりなど、異変に気づいたら公的機関や「地域ケアプラザ」、地区町会長や民生委員などに相談連絡をしましょう。孤独死や児童虐待などを未然に防ぐため、これからはご近所同士で「ゆる〜い見守り」が役に立ちますなどの話がありました。